

夷耶馬・鷲巢岳地域の陸生昆虫



夷耶馬から鷲巢岳を望む



シワナガキマワリ
体長(16~23mm)

アサギマダラ
さらに蜜(蜜り)を
続けるための吸蜜



この地域の山の多くは常緑広葉樹林帯の上限(約600m)より低く、落葉広葉樹林帯を持ちません。また、昔から建築材や薪炭材の生産場所として人との関わりが深く、多くは比較的若い木の2次林です。したがって、陸生昆虫もおおのずから低山地や平坦地で普通に見られる種がほとんどです。

しかし、信仰の対象として大事にされてきた場所や、人の近づけない場所には小規模ながら国東ならではのすぐれた自然が

残っており、思いがけない森林昆虫に出会うことができます。

また、近年は林業の不振や松枯れに加え、幹線道路の整備や農免道路などの開発が急速に進行して、昆虫の生息環境が著しく変わってきました。このため普通種と思われてきたクワガタ等の大型昆虫やオサムシ等の歩行性昆虫にその影響が感じられます。



ヒメハルゼミの成虫
向かって左・雄、右・雌(雌23~25mm・雄24.5~28mm)



マメヒラタアブ(8~9mm)



トラマルハナバチ(雌20~26mm・雄10~18mm)



シュウジナガカメムシ(9mm)



コカブトムシ
体長(20~24mm)



ホソクビキマワリ
体長(20mm内外)



ジャコウアゲハ
最後の産卵のための吸蜜